

GIGAスクール構想に関する教育関係者の皆様へのアンケート

- **目的** : GIGAスクール構想で整備された一人一台端末の効果的な活用に向け、端末やネットワーク環境、デジタル教材や教育方法、学校現場におけるデジタル人材といった様々な現場の課題を幅広く把握し、今後の政策の検討・改善へと活かす。
- **進め方** : テーマを大きく3つに分け、意見収集。意見をもとに関係省庁間で検討するとともに、提出意見及びその概略を事務局でまとめ、8月中を目途に改善策とともに公表。
- **対象者** : 初等中等教育段階の教職員・教育関連の民間事業者・保護者・児童生徒等の教育関係者
- **実施期間** : 7月1日（木）～7月31日（日）の1ヶ月。
- **備考** : SNS配信（Twitter等）や教育関係者へのメールマガジン（GIGA StuDXメールマガジン、初中教育ニュース）での周知を実施。

【特徴】

- ①教職員、民間事業者、保護者といった**幅広い教育関係者**からの意見を把握することで、デジタル庁の目指す「**誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化**」の理念を体現
- ②デジタル庁が掲げる「**アジャイル**」の精神の下、施策を小さく素早く実行し改善に繋げる



【QRコード】



【テーマ】

1. **学習者**について感じる課題（例：操作など基本的な使い方が分からない、学習以外の用途に利用してしまう、情報モラルが不足している、ネットワーク環境が悪い、家庭での学習に利用できるコンテンツがない）
2. **教職員**について感じる課題（例：教職員向けのICT環境が整備されていない、操作など基本的な使い方が分からない、担当教科でのICTの効果的な活用方法が分からない、リテラシーの高い教員に業務負担が偏る）
3. **学校その他の関係機関**について感じる課題（例：学校全体の教育方針がデジタル化を推進していない、ネットワーク環境が整っていない、書類や調査のデジタル化が進んでいない、ICTに精通した人材がいない、学習者向け端末の持ち帰りについて抑制的に対応している）

【進め方の流れ】

教育関係者の意見投稿



関係省庁間で検討



提出意見及びその概略、
改善策のとりまとめ

※ 1人1台端末の効果的な活用に向けて、教育現場で工夫した事例や政策のアイデア、必要なサポートがあればあわせて回答